1959年1月31日第3種郵便物認可（月615円〒160円、会員は会費に含む）

週刊 うたごえ新聞

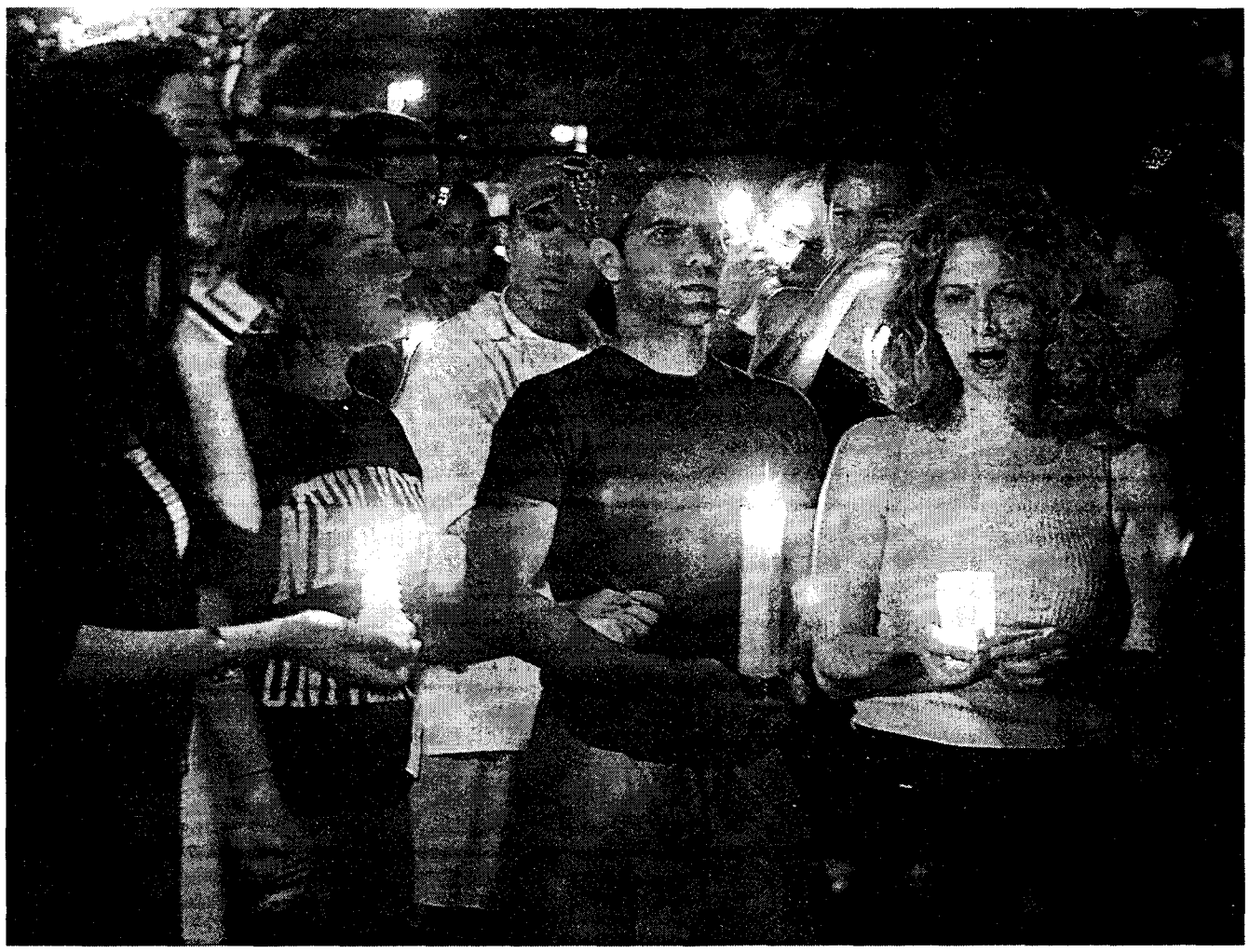
10／8（2001年）

NO. 1816

THE SINGING VOICE OF JAPAN（UTAGOE）
日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169-0072 東京都新宿区大久保2－16－36
☎03(3209)0638 FAX03(3200)0105
E-Mail＝utashin@pop06.odn.ne.jp
振替口座 00120－6－5631 毎週月曜日発行

報復では得られない平和・自由

「ねえ ちょっとだけ考えてみよう 人の命のこと」人の中に太陽みたいに熱くて でもその太陽より 重いものがつまっている…」（『何億もの太陽』、小金井南中『学年だより』、三多摩青年合唱団・箱崎作次さんの通信より）。9月11日の米国での同時多発テロ事件で、ブッシュ大統領の「武力による報復手段も辞さない」との発言、小泉首相はこれを支持し、日本の自衛隊が海外派兵に道を開く新立法案等、〝戦争〟という言葉が飛び交う。しかし、米国から「戦争反対」の良心の声、世界中から「真の平和のために」とメールが届く。11月の〝出発コンサート〟で「砂川」を指揮する栗山氏、音楽評論家の湯川さん、高橋幹事長のメッセージを紹介。



▲同時多発テロ事件が起こった翌日、ニューヨークのワシントン・スクエア公園では犠牲者の追悼のため集まった人々がロウソクを灯して歌った（サン・テレフォト）

Dona nobis Pacem

（われらに平安を与えたまえ）

栗山文昭（合唱指揮者）

あと30分でバッハ作曲ロ短調ミサ曲の本番です。オーケストラは新日本フィルハーモニー交響楽団、指揮は1922年ドイツ生れのゲルハルト・ボッセ、合唱は栗友会合唱団80名、合唱指揮は私です。

このミサ曲はバッハ最後の作品で130分もかかる大曲です。曲の最後は「神の小羊」人々のために犠牲になって十字架上で死んだキリストに2つの祈りを唱えます。

神の小羊、世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。

神の小羊、世の罪を除きたもう主よ、われらに平安を与えたまえ。

私はキリスト教の信者ではありませんが、宗教を超えて、この言葉を歌う時、常に祈りを込めます。人間の欲や主義主張をそれぞれが理屈を付け、人の心や体を傷つけることで解決する方法で人類はここまで来ました。それで何を得たのでしょう。今、日本が行おうとしている事は、そうした繰り返される怨みを増すための手助けです。終ることはありません。

私は小さな一人の音楽家にすぎません。もうすぐ始まるロ短調ミサを通じて、平安を祈ることしかできません。もう1ベルが鳴りました。錦糸町のトリフォニーホールから心からの祈りが荒くれた心の人たちに伝わりますように。

（9月22日・記）

今、人間として何が出来るか

湯川れい子（音楽評論家）

憲法を無視しての行動というのも重要な課題ですが、それ以前の基本的な問題として、「今、人間として何が出来るか」という議論が最も必要だと思います。

今回のテロは、人類史上類を見ない大規模で卑劣な行為であり、断じて許せないし、二度と起こさせてはいけないことです。

TVの前で心配したり、ゴチャゴチャ言っていても解決になりません。でも、京都議定書やミサイル制限条約からの離脱、アラスカの自然保護地域での石油開発など、とうてい世界正義とはいえないエゴを通しているアメリカが、「テロにつくか、アメリカにつくか」なんて冗談じゃない。EUのように、テロとは闘うけど、アメリカ主導の行動には参加出来ないと、日本も表明すべきです。そのことを表明してからの国連決議だったら、お金も人材もボランティアも出さなければいけないと思います。もちろん憲法の範囲内で。

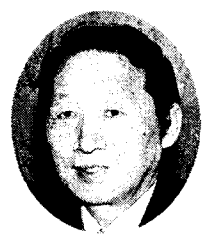
日本の政治家は与党も野党もそのことをハッキリさせないで憲法論議で終始しているから、この際民衆の新しい武器「インターネット」を駆使して、国際世論をひとつにまとめ、国連主導の国際会議を招集、新しい緊急特別会議と委員会を至急作って、第三次世界大戦とテロ多発の危機に立ち向かいたいものです。有効なネットを知っている人は、ぜひお知らせ下さい。

ちなみに私は下記のネットで、アメリカの新聞への全面広告掲載に協力しています。

http://www.peace2001.org/

（9月22日・記）

国際法に基づく解決への勇気を



高橋正志（日本のうたごえ全国協議会幹事長）

（メッセージは3面）

今週の記事

☆2001年埼玉のうたごえ祭典（10月21日）／10月20日から2001サム・トゥッ・ソリJAPAN Tour 4・5面
☆ず～む・あっぷ 第46回電通のうたごえ祭典（群馬・10月28日） 3面
☆〔連載〕
「ミュージック・トゥデイ」（日下部吉彦）／「われらニャがの合唱ニャン」（古沢望）／「映画缶」／「空を見てますか」（池辺晋一郎）
☆楽譜紹介「あなたへ」 7面
☆〝作品でつづる音楽史〟concert:20－21
日本の作曲・21世紀へのあゆみ 8面

ふめんだい

ブルース・スプリングスティーンがうたい始め、トム・ハンクスがコメントし、スティーヴィー・ワンダーの演奏がそれにつづく―米国の音楽、テレビ、映画のトップ・アーティストたちが集まって、同時多発テロ犠牲者追悼チャリティ番組が世界62ヵ国に生中継された（米テレビ4大ネット制作で9月22日＝日本時間）

☆ ★ ☆

既に100万ドル寄付したジム・キャリーは、倒壊寸前のビルから車椅子ごと女性を担いで86階も降りて救出した人を讃え、ロビン・ウィリアムスは、歌をうたいながら人々を安全に外に導いた行ないを紹介。スターたちは口々に、救援活動に参加する人々の自己犠牲と勇気を伝え、自分たちもつづこうと訴えた。

☆ ★ ☆

その上でイスラム教徒のモハメッド・アリは信仰とテロの無関係を力説し、番組全体として世界中の多彩な文化圏から協力が集まることが被害者たちに勇気を与える、と強調。そこには、人命を奪う〝報復〟でなく、生きる力としての勇気と優しさが満ちていた。ポール・サイモンは「明日に架ける橋」、ニール・ヤングは「イマジン」でメッセージ。

☆ ★ ☆

報復戦争に無批判に追随する者に、今こそ日本国憲法と文化の力を示す時。理性と忍耐による追及は時を費やしても、テロリストと好戦者を孤立させる（彦）